

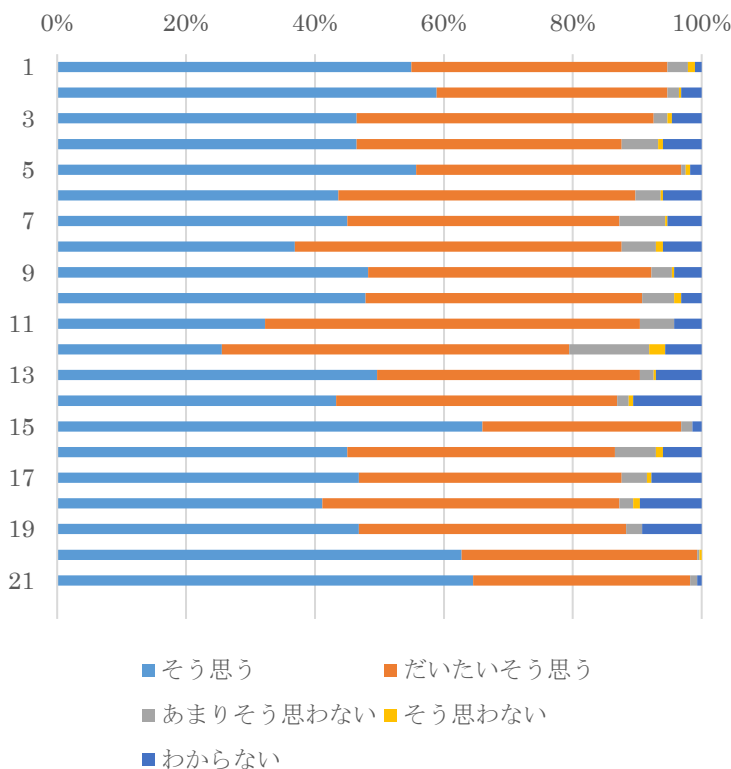
令和5年度 学校評価アンケート 集計結果

保護者

質問項目

1	学校は、午前5時間授業を実施し、集中力の高い午前中に1コマ40分の5時間授業を実施して、生活や学習リズムの確立を図ったり、学習内容に則した弾力的な授業時間の設定や指導計画の工夫を行ったりして、子どもたちの学力の定着に努めている。
2	学校は、1～6年生全ての学年で教科分担制や、3～6年生での算数コース別学習を実施しより専門的な授業展開や学習進度に沿った指導によって、子どもたちの学力の定着に努めている。また、複数の教員で子どもを見守ることにより、子どもたちの心の安定をめざしている。
3	学校は、子どもたちが授業に興味関心をもち、進んで調べたり考えを発表したりしながら主体的・対話的に学習活動を進めることができるような授業の実践に努めている。
4	学校は、タブレットを活用して効果的に学習を進めている。また、情報モラルについて指導し、情報社会で適正な活動ができる子の育成に努めている。
5	学校は、学校行事や異学年交流（なかよし交流）、長縄跳び集会、地域の人たちとの体験活動等を通して、思いやりの心や自己有用感、自己肯定感を育てる取組をしている。
6	本校の児童は、学校行事や異学年交流（なかよし交流）、長縄跳び集会、地域の人たちとの体験活動等を通して、思いやりの心や自己有用感、自己肯定感が育っている。
7	学校は、学校保健委員会や食育、長縄跳びなどを通して、子どもたちの健康・体力向上を推進する取組を行っている。
8	本校の児童は、学校生活と家庭生活を通して健康によい習慣（早寝・早起き・朝ご飯、食事、運動など）が身に付いている。
9	学校は、教職員間で情報を共有し合い、担任だけでなく、学年、チームマネージャー、児童支援専任とも連携して児童指導に取り組む、だれもが安心して通える学校づくりに努めている。
10	学校は、保護者や地域の方と連携して、子どもたちに基本的な生活習慣が身に付くように挨拶や登下校指導に取り組んでいる。
11	本校の児童は、学校生活のきまりを守る意識が身に付いている。
12	本校の児童は、挨拶や返事などの礼儀が身に付いている。
13	学校は、個に応じた支援をする体制（チャレンジルームや国際教室での個別支援やよる教室内に担任以外の教師が入った個別支援、算数コース別学習など）を整え、一人ひとりを大切に支援を行っている
14	学校は、学校運営協議会や地域学校協働本部を設置し、社会に開かれた学校として、地域と連携・協働して、子どもたちの活動が充実するように取り組んでいる。（学校運営協議会による学校評価、地域人材を授業に活用等）
15	学校は、保護者や地域の方と連携し、子どもたちの安全や学習支援活動に取り組んでいる。（地域見守りたい、おはようどんぐりこ、ブックマム、オヤジの会、給食ボランティア、学習ボランティア 等）
16	学校は、体験的な学習や地域・企業などと関わる学習活動を行い、児童一人ひとりの自己有用感を高めたり、学ぶことや働くことの意義について考えたりする学習に取り組んでいる。
17	学校は、自分づくりパスポートやマイプランを導入し、児童自らが見通しをもって学んだり、学習状況や生活を振り返ったりする機会を設け、主体的に学びに向かう力の育成に取り組んでいる。
18	学校は、年5回の児童アンケートを実施して、子どもたちの些細な変化を見逃さない体制づくりを行っている。
19	学校は、各学年にチームマネージャーを配置し学年内で連携し協力しながら学級・学年づくりができる体制をとっており、保護者の相談などにも学年で連携して対応している
20	学校は、ホームページ、学校だより、学校説明会（HPに掲載）、ミマモルメ、懇談会などを通して、保護者や地域の方々に情報提供を行っている。
21	学校は、個人面談、懇談会、地域・家庭訪問、授業参観、運動会、あざニミュージックフェスタなどを実施し、保護者との連携や開かれた学校づくりに努めている。

R5学校評価アンケート（保護者）



考察

全体的に肯定的な回答が多い。特に質問20・21については、高評価をいただいた。方法を工夫しながら行事を実施していること、年間2回ずつ個人面談と懇談会を実施したこと、ミマモルメ（今後はすぐる）や学校HP等での情報発信などを通して保護者の方々と連携をとっていることを評価していただいていることが分かる。また質問15について、保護者や地域の方々にご協力をいただきながら子ども達の安全や学習支援活動に取り組んでいることも高い評価をいただいた。

質問1・2について、本校で力を入れている午前5時間授業、教科分担制、算数コース別学習についても、「そう思う」「だいたいそう思う」との回答が多い。子ども達からも高評価であり、今後も継続して進めていきたい。

質問4「タブレットの活用」、質問16「体験的な学習」について、若干評価が低かった。タブレットに関しては、家庭への持ち帰りを含め、活用機会が増えるため、使い方の約束や情報モラルについての指導を今後もしっかり行っていきたい。質問12「挨拶・返事」については、例年同じ傾向が見られるが、『地域見守りたい』の方々からは、「挨拶が増えてきている」という声をいただいているが引き続き、学校でも進んで挨拶ができるように子どもたちに促していきたい。体験的な学習については、今年度も出前授業や地域への校外学習等を充実させ、学習を深められるようにしていきたい。

「分からない」とお答えになった方が多かった項目がいくつかある。開かれた学校に向けて、より丁寧な情報提供を心がけていきたい。